

かがやく心

個が輝き、共に生きる文京の教育



文京区教育委員会

あ い さ つ

個が輝き、共に生きる文京の教育をめざして

文京区教育委員会教育長 丹羽 恵玲奈

文京区教育委員会では、「個が輝き共に生きる文京の教育」を教育ビジョンとして掲げ、一人一人の子どもが尊重され、個の力を発揮できるとともに、互いを理解しようと努め、心を通わせ、共に感じ、共に生きていく、自他を尊重する心や態度の育成を目指しております。

その方針のもと、人権尊重の理念を広く定着させ、あらゆる偏見や差別をなくし、様々な人権課題に関わる差別意識の解消を図るために、人権教育を推進しております。

このたび、各校・園が実践している「いのちと人権を大切に^{ふみ}する教育」のうち、自他の生命、人権を尊重する心や態度を育成し、自尊感情や自己肯定感を高める取組を紹介する「文京区教育ビジョン啓発リーフレット」を作成いたしました。「文の京」にふさわしい、豊かな心を育む教育の実現に向けてご活用いただければ幸いです。

これからも、子どもたち一人一人が輝き、互いをかけがえのない存在と認め合い、共に思いやって生きるための教育の充実を図っていくために、学校・園が、家庭や地域、関係機関等との連携と協力を一層深め、実りある教育活動が実践されることを願っております。

「かがやく心」に思いを馳せて

文京区教育ビジョン啓発誌作成委員会委員長

文京区人権教育推進委員会委員長 山田 晴康

昭和23年12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。その翌年以降、12月4日から10日までの一週間を「人権週間」と定め、人権啓発活動が行われてきました。

今年も『「誰か」のことじゃない』を合言葉に、社会全体、そして各校・園等で取組を推進しています。具体的な取組の一つとして、人権標語があります。本校においても、人権の意味を人権集会で再確認し、全校を挙げて人権標語に取り組みました。

いくつかの標語を紹介します。「その言葉 伝える前に考えよう 本当にそれは合っているのか」「友達の一つの言葉で 心は動く」「すごいね と言って広がる ほめ言葉」

これらの標語には、周りの友達や人とどのように関われば互いに気持ちがよいかという、自他を尊重する気持ちが表されており、言葉や態度、表情などを心に留めることが大切であるというメッセージが込められています。

自他の尊重、そして人権を保障するためには、身近な生活にある、自分そして周りの人々との豊かな関わり方こそが重要となります。ぜひ、「かがやく心」に掲載されている文京区^{ふみ}の取組、区内各校・園の実践事例を参考にするとともに、大人も子どもも共にあたたかく、心を輝かせていくことができますように、よろしくお願いいたします。

「個が輝き、共に生きる文京の教育」

教育目標

- 心身ともに健やかで、自他を尊重し、人間性豊かにたくましく生きる人
- 自ら学び考え、表現し行動する人
- 社会の一員として広い視野をもち、日本の将来を担う人
- 地域を愛し、共に生きる社会を築く人

「文の京」総合戦略

基本構想

- 理念
- 都市像

●基本政策

- 戦略シート
(主要課題)

教育指針 基本的な視点

- 【視点1】持続可能な社会を見据えた新しい未来の創り手の育成
- 【視点2】学校教育における知・徳・体のバランスのとれた力の育成
- 【視点3】地域ぐるみで子どもの教育に取り組むための連携・協働
- 【視点4】子どもの学びを保障する教育環境

教育委員会主要施策

～「文の京」(ふみのみやこ)～

これまで、文京区は、「文教の府」といわれ、「文化の香り高いまち」を目指して発展してきた。これに寄せる区民の誇りと愛着を大切にしたい。

そのうえで、区民と区が、時代の大きな変化に適応しつつ、可能性に富んだこの地を、新たな洗練と成熟の段階へとさらに発展させていく都市自治の姿を「文の京」と呼ぶ。

令和6年度 幼稚園・小学校・中学校の取組

人 権 教 育			
		学校園名	具体的な取組
幼稚園	1	第一幼稚園	栽培活動、飼育物との触れ合い（移動動物園）、いのちについての絵本の読み聞かせ、祖父母や地域の高齢者との触れ合い、いのちと人権を考える月間
	2	柳町幼稚園	飼育物との触れ合い、移動動物園、栽培活動、誕生会、祖父母とのふれあい会、プライベートゾーンについての紙芝居読み聞かせ、いのちと人権を考える月間
	3	明化幼稚園	栽培活動、飼育物との触れ合いや世話活動、移動動物園、祖父母とのふれあい会、いのちと人権を考える月間
	4	青柳幼稚園	動物とのふれあい活動（移動動物園）、栽培活動、飼育物との触れ合いや世話活動、祖父母とのふれあい会、いのちと人権を考える月間
	5	根津幼稚園	飼育物との触れ合いや世話活動、親子で動物との触れ合い活動（移動動物園）、栽培活動、祖父母との交流活動、いのちと人権を考える月間
	6	小日向台町幼稚園	親子で動物との触れ合い活動（移動動物園）、栽培活動、飼育物の世話、祖父母との触れ合い会、いのちと人権を考える月間
	7	本駒込幼稚園	栽培活動、飼育物との触れ合いや世話活動、移動動物園、祖父母や地域の高齢者との触れ合い、いのちと人権を考える月間
	8	千駄木幼稚園	人権に関する絵本の読み聞かせ、栽培活動、飼育物との触れ合いや世話活動、移動動物園、祖父母との触れ合い、いのちと人権を考える月間
	9	後楽幼稚園	文京盲学校との交流活動、飼育物との触れ合いや世話活動、栽培活動、移動動物園、大塚特別支援学校との交流活動、地域の高齢者との交流活動、祖父母との交流活動、いのちと人権を考える月間
	10	湯島幼稚園	栽培活動、飼育物との触れ合いや世話活動、移動動物園、誕生会、七夕の集い（祖父母や近隣の高齢者との触れ合い）、いのちと人権を考える月間
中学校	1	第一中学校	道徳授業地区公開講座、ユニセフ募金、あいさつ運動、いのちの授業、いのちと人権を考える月間、ふれあい月間
	2	第三中学校	道徳授業地区公開講座、いのちの授業、いのちと人権を考える月間、ボランティア活動、ユニセフ募金、あいさつ運動、ふれあい月間
	3	第六中学校	道徳授業地区公開講座、幼稚園・保育園、高齢者施設等でのボランティア活動、JRC活動、ブラインドサッカー、ユニセフ募金、社会科授業、生徒会によるいじめ撲滅イエローリボン運動、いのちと人権を考える月間、ふれあい月間、いのちと心の授業、アウェアネスリボンキャンペーン
	4	第八中学校	道徳授業地区公開講座、いのちと人権を考える月間、ユニセフ募金、ふれあい月間、いのちと心の授業
	5	第九中学校	道徳授業地区公開講座、全生徒によって考えた人権カレンダーの作成と掲示による意識を高める行動、生徒会によるいじめ撲滅（IBP）運動、ふれあい月間、いのちと人権を考える月間、いのちと心の授業
	6	第十中学校	道徳授業地区公開講座、全校弁論大会、ユニセフ募金、あいさつ運動、賞賛の花（自尊感情を高める取組）、いのちと人権を考える月間、ふれあい月間、いのちと心の授業
	7	文林中学校	ユニセフ募金、道徳授業地区公開講座、いのちと人権を考える月間、ふれあい月間、人権作文、いのちと心の授業
	8	茗台中学校	道徳授業地区公開講座、あいさつ運動、人権作文、いのちと人権を考える月間、ふれあい月間、いのちと心の授業
	9	本郷台中学校	道徳授業地区公開講座、あいさつ運動、ふれあい月間、いのちと人権を考える月間、ブラインドサッカー（2年）、いのちと心の授業（全学年）
	10	音羽中学校	道徳授業地区公開講座、音羽公開講座（いのちと心の授業・マナー講座・ホロコーストについて）、いのちと人権を考える月間、ふれあい月間

	学校園名	具体的な取組
小 学 校	1 礪川小学校	一人一鉢栽培、あいさつ運動、いのちと人権を考える月間、ユニセフ募金活動、いのちと心の授業、心のアンケートの実施、交流及び共同学習、幼稚園との交流活動（１年）、ふれあい給食（１年）、高齢者との交流（１年）、ふれあい月間
	2 柳町小学校	あいさつ週間、あいさつ標語作り、いじめアンケート、いのちと心の授業（６年）、ふれあい月間、いのちと人権を考える月間、いじめの授業、障害者の授業、高齢者との交流
	3 指ヶ谷小学校	あいさつ運動、人権目標（毎月）、いのちと心の授業（５年）、ふれあい月間、車いす体験（４年）、高齢者体験（３年）、心のアンケート、ユニセフ募金、人権の本の読み聞かせ、いのちと人権を考える月間
	4 林町小学校	ふれあい月間、ふれあい標語・ポスターづくり（６年）、あいさつ運動、ユニバーサルデザインの視点に立った教室環境、ユニセフ活動、いじめアンケート、いのちと心の授業（５・６年）、いのちと人権を考える月間
	5 明化小学校	あいさつ運動、いのちと人権を考える月間、ふれあい月間、心のアンケート、いのちと心の授業（４年）、「明化しぐさ」の指導、「アイヌの伝統・文化を知ろう」（５年）、「自分らしく生きる」（６年）
	6 青柳小学校	ふれあい月間、人権の標語、いのちと人権を考える月間、心のアンケート、青柳まつり、ユニセフ募金、ふれあい給食（３年）、いのちと心の授業（６年）
	7 関口台町小学校	人権強化月間（２回/年）、ふれあい月間、あいさつ運動（３回/年）、関台キッズ（縦割り班活動）、地域の保育園・幼稚園との交流（学校見学、遊び体験）、いのちと人権を考える月間、いのちと心の授業
	8 小日向台町小学校	ふれあい月間、いじめアンケート、ユニセフ募金、あいさつ週間、あったか言葉の木、アサーションプログラムの実施、いのちとこころの授業（６年）、障害者との交流（４年）、いのちと人権を考える月間
	9 金富小学校	ふれあい月間、いのちと人権を考える月間、アサーション授業推進月間、いのちと心の授業（６年）、いじめアンケート、児童会によるいじめ防止キャンペーン（ポスター・標語・作成、各委員会による取組等）
	10 窪町小学校	たて割り班活動（なかよしタイム）、いのちと心の授業（５・６年）、ふれあい月間、いのちと人権を考える月間、心のアンケート、ユニセフ集会、委員会活動を中心とするあいさつの取組、ほわほわ言葉の木（玄関ホールに掲示）
	11 大塚小学校	アサーションプログラムを取り入れた授業、いのちと人権を考える月間、ふれあい月間・心のアンケート、いのちと心の授業（５・６年）
	12 湯島小学校	いのちと人権を考える月間、ふれあい月間（人権標語づくり）、花育（菊づくり、花の苗・野菜づくり、公園整備）、心のアンケート、ユニセフ募金、いのちと心の授業
	13 誠之小学校	ふれあい月間、いのちと心の授業（５年）、せいかつアンケート、JRC（日本赤十字）活動、いのちと人権を考える月間
	14 根津小学校	ふれあい月間、いのちと人権を考える月間、「にこにこバルーン」作成・掲示、あいさつ運動、心のアンケート、いのちと心の授業（６年）、ユニセフ募金活動
	15 千駄木小学校	心のアンケート、ふれあい月間、オリンピック・パラリンピック教育における障害者理解、高齢者理解教育、あいさつ運動、人権の花、栽培活動、人権標語の作成と掲示、いのちと人権を考える月間、いのちと心の授業
	16 汐見小学校	いのちと人権を考える月間、ふれあい月間、心のアンケート、あいさつ運動（年間）、ユニセフ募金活動、高齢者体験（４年）、いのちと心の授業、人権標語、SST
	17 昭和小学校	ふれあい月間、いじめアンケート、いのちと人権を考える月間、地域資源の活用・連携、いのちと心の授業
	18 駒本小学校	年間を通じたあいさつの指導、アサーションプログラムの実施、心のアンケート・いじめアンケートを通じた人権教育の実施、いのちと人権を考える月間、ふれあい月間、いのちと心の授業
	19 駕籠町小学校	駕籠町心いきいき標語作り、いじめに関するアンケート、挨拶運動、ユニセフ募金、九中人権カレンダー掲示、ふれあい月間、いのちと人権を考える月間、いのちと心の授業
	20 本郷小学校	ふれあい月間、あいさつ運動、自ら目指す本郷の子、いじめアンケート、いのちと心の授業（５、６年）、いのちと人権を考える月間、ユニセフ募金

文京区人権教育推進委員会について

文京区教育委員会では、毎年、幼稚園、小学校、中学校からそれぞれ委員を委嘱し、区内幼稚園、小・中学校における人権教育の一層の充実を図るために、「文京区人権教育推進委員会」を組織しています。主な活動は、東京都教育委員会が設置する「人権尊重教育推進校の研究・実践に関するブロック別連絡会」等へ参加し、人権教育に関する協議や研究実践発表等の内容について区内学校（園）に普及・啓発を図ります。

○江東区立つばめ幼稚園 研究発表会に参加して 文京区人権教育推進委員幼稚園部会

研究主題：みんながつながるようちえん～地域・自然との関わりを通して～

1. 研究内容・方法

本研究では、自然に触れて心が動く体験を通して豊かな感性・創造性を育み、様々な人と関わる喜びを感じる幼児の育成を目指して、幼児が生き物と関わり、気付いたり戸惑ったり考えたりする姿やそれを支える大人の関わりについて事例を取り上げ、考察した。近隣の幼稚園、保育園、小学校の教師への保育公開と協議会や情報交換、地域や保護者への聞き取りやアンケートの実施、自然に関する取組の資料や地域とともに自然マップの作成をするなど様々な取り組みを行った。

2. 研究のまとめ

自然に触れて心が揺り動かされる体験を繰り返し行うことで、様々な気付きを伝え合うようになり、興味の連鎖や関心の継続が生まれた。さらに、地域や保護者との関係が深まり、様々な知識に触れる機会となった。これらのことから、自然との関わりは人とつながるためのきっかけとして有効であり、人とのつながりが自然への興味・関心の継続と探究の姿につながった。

3. 研究発表会に参加して

自然現象は予測がつかないことが多く、生き物の命に触れる体験をすることもあった。命を通して様々な思いを感じ、幼児がそれを表現することにより、自分と同じ思いをもつ幼児、違う思いをもつ幼児に出会い、いろいろな感性があることに気付く。つばめ幼稚園では、開園以来脈々と受け継がれている地域や人とのつながりの中で幼児自身が大切にされていることを実感することができ、想像力や感受性が豊かになるような保育が展開されている。幼児教育では多様な経験を保障することで、心身の調和のとれた発達が促されると再確認した。

○台東区立富士小学校 研究発表会に参加して 文京区人権教育推進委員小学校部会

研究主題：豊かな関わりから自分や他者のよさを認め合い、互いを大切にする子供の育成

1. 研究内容・方法

- ・『豊かな関わり』として、富士幼稚園をはじめとした近隣の幼稚園、保育園との交流、異学年の交流、近隣の施設への訪問、ゲストティーチャーを活用した授業など、『豊かな関わり』を充実させた。
- ・児童が主体的に探究できるように、また活発に話し合えるように授業の工夫も行った。

2. 研究のまとめ

- ・児童が自己の学びを確かめながら、意欲的に学習を進める姿が見られるようになった。
- ・ゲストティーチャーを通して学ぶことは、自分の考えをもつことに効果的だった。
- ・異学年で認め合う場が、児童の自己肯定感を高め、人権意識の向上につながった。
- ・教員研修により、人権教育への理解を深め、指導力の向上につながった。

3. 研究発表会に参加して

台東区立立石小学校では、自らの目標を明確にもち、課題に向かって、多様な他者との協働を通して、自らの学習を振り返りながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成を目指し、人権教育を行っている。粘り強く学習に取り組むために、「学び続けるプロセス」として、3段階の探求的な学びのステージを設定し、学習計画に活用していた。また、多様な他者との協働のために、「協働的な学びのポイント5」として、協働的な学びのポイントを5つ考え、明確に意識しながら指導を行っていた。

学習計画に、児童の思いや考えが反映され、人権課題に対して児童一人一人が自分の思いや考えをもち、伝え合うことで、自分たち自身で授業をつくり、探究していく姿が印象的だった。

○荒川区立第一中学校 研究発表会に参加して 文京区人権教育推進委員中学校部会

研究主題：「互いに尊敬しあい、高め合いながら進んで社会に貢献できる生徒の育成」～人権意識の向上と実践力の育成を通して～

1. 研究内容・方法

令和5・6年度、東京都教育委員会人権尊重推進校の指定を受け、標記の研究主題のもと、「気づき、考え、実行する」ことができる生徒の育成を目標に、以下の3点を研究の視点として2年間の研究を行った。

- ・人権意識を磨き人権課題を正しく理解するための教育の推進
- ・課題の解消に向けて自ら考えるために必要な学力と正しい知識の定着
- ・社会に貢献していくための規範意識や思いやりの心、自主性を育成する指導の工夫

2. 研究の成果

- ・多様な人材活用や具体的な人権課題を取り上げた学習で、生徒の人権に関する理解が深まった。
- ・相手の状況に応じて適切に判断する力や他者と協働して行動する意欲が高まった。
- ・ボランティア活動をはじめとした、地域での様々な活動を通して他者の大切さを認め、進んで行動できる生徒が増えた。

3. 研究発表会に参加して

1年生の総合的な学習の時間「共に生きる社会をつくるために」を参観した。生徒は聴覚障害者の方より話を聞き、日常生活で困っていることなどを共有した後、様々な障害等をもつ方が生活上で困難なことや必要な配慮を班ごとに話し合い発表した。意欲的に話し合いをする生徒の姿に研究の取り組みの深さを感じた。「呼称の見直し」「男女の色分けの見直し」「整列時の隊形の見直し」「教職員の言動の見直し」「委員会男女定員枠の撤廃」などのアンコンシャス・バイアスの見直しや改善は、今後の研究課題ともなり得るものであった。

「いのちと心のアサーションプログラム」

よりよい人間関係をはぐくむアサーショントレーニングの考え方を導入した
「いのちと心のアサーションプログラム」を実施しています。

1 実施の趣旨

児童・生徒が、かけがえのない命を大切にすることを育み、伝え合う力を高め、望ましい人間関係をつくる力を身に付け、生きることの素晴らしさを、教育活動を通じて実感できるようにすることは重要なことである。また、児童・生徒が自分の気持ちや考えを表現でき、自分の感情をコントロールできるようになることは、いじめや不登校、生命にかかわる重大な事故の早期発見・予防につながり児童・生徒の生活指導上の課題の解決に向けた一助となる。

これを受けて、自他の生命を尊重し、自尊感情や自己肯定感を高める教育の充実を図るため、「いのちの教育推進モデル校」を指定し、自分の気持ちや考えを表現するスキルを身に付けるとともに、自分も他人も大切にすることが醸成され、よりよい人間関係をはぐくむことができる「いのちと心のアサーションプログラム」の研究を行った。

2 内容

大学・NPO等外部講師の協力を得ながら、自他の生命を尊重し、自尊感情や自己肯定感を高める教育の充実を図るため、自分の気持ちや考えを表現するスキルを身に付け、自分も他人も大切にすることが醸成され、よりよい人間関係をはぐくむことができる「いのちと心のアサーションプログラム」についての研究である。

プログラムの研究にあたっては、「よりよい人間関係」を築くための「自他尊重の自己表現」であるアサーショントレーニングの導入を前提とした。

◆主な研究内容

- ・発達段階に応じた指導プログラムの作成
- ・プログラムのねらいをより効果的に達成するためのアサーショントレーニングの教員研修
- ・スクールカウンセラーや教育相談室等と連携したストレスマネジメント等の実践
- ・命の大切さを実感できる教育活動の充実

「いのちと心の授業」

外部講師を招き、命の大切さを学び、よりよく生きることについて考えます。

1 ねらい

児童・生徒が、かけがえのない命を大切にすることを育み、生きることの素晴らしさを、教育活動の中で実感できるようにすることは重要なことである。

外部講師の講話や授業を通じて

- (1) 児童・生徒の自尊感情や自己肯定感を高め、自分も他人も大切にすることを育てる。
よりよい人間関係を育むことで、いじめや不登校、生命にかかわる重大な事故等の早期発見予防の一助とする。
- (2) いのちは自分だけのものではなく、受け継がれている、支えられている、支えているといういのちのつながり、多様性に気付かせる。
- (3) 東日本大震災での体験も合わせ、児童・生徒が「限りあるいのち」「生かされたいのち」に自覚し、感謝し自らの命を輝かせ、よりよく生きるための豊かな心の育成と生き方教育の充実を図る。

2 実施の形式 例

- A 教員の公開授業及び講師を呼んでの授業（講話）を実施する
- B 講師を呼んでの授業（講話）を実施する
- C 講師の授業（講話）と児童・生徒との意見交換を実施する
- D 道徳の授業のゲストティーチャーとして講師を呼ぶ
- E 総合的な学習の時間の「生き方」「健康」単元等のゲストティーチャーとして講師を呼ぶ
- F 安全教育や健康教育の一環として、ゲストティーチャーとして講師を呼ぶ
- G 土曜授業公開や道徳授業地区公開講座（公開授業）の開催日に実施する
- H その他

「いのちと人権を考える月間」

自尊感情や自己肯定感を高め、自分や他者の命、人権を大切にする心や態度を育てる取組を、強化月間中に具体的な教育活動として位置付けています。

5月と12月に設定した「いのちと人権を考える月間」において、人権教育や生命尊重教育に重点的に取り組んでいます。すべての区立幼稚園、小・中学校において自尊感情や自己肯定感を高め、自分や他者の命、人権を大切にする心や態度を育てる具体的な取組を行い、人権教育や生命尊重教育の推進を図っています。年2回の「いのちと人権を考える月間」の報告をまとめ、各校（園）での取組について振り返るとともに、実践の様子や傾向等を把握し、次年度からの更なる充実につなげます。

【実施の目的】

子どもたちが、自尊感情や自己肯定感を高め、自分や他者の命や人権を大切にしようとする心や態度を育てる取組の充実を図るとともに取組状況の点検を行い、現状や取組の効果等を把握する。

◆「いのちの教育」の重点

- ・自尊感情・自己肯定感を育てる。
- ・「限りあるいのち」「かけがえのないいのち」「受け継がれるいのち」「生かされたいいのち」等多様な視点から生命を捉えられるようにする。
- ・いのちの尊さと人間としての生き方を教える。
- ・相手のことも考えて自分の考えや思いを伝えられるようにする。

◆「人権教育」の目標

一人一人の幼児・児童・生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにする。

各校園の取組

- ・児童同士が一人一人を大切にして、気持ちのよい挨拶と共に一日を始めることができるように、「あいさつ当番」の活動に取り組んだ。
- ・各教室にて、様々な生き物を飼育し、授業以外でも係活動等を通して命あるものを大切にする教育を行った。
- ・あったか言葉の木を全学年で作成し、縦割り班ごとに掲示して見合う活動を実施した。
- ・PTAと協働して、チューリップの球根を植え、お茶会を行った。この活動を通して、協力することや思いやりの心、生命の大切さを実感として学ぶことができた。
- ・「いのちの大切さ」や人との関わり方について、幼児の年齢に応じて、話したり考えたりする機会を設定した。
- ・誕生会で、保護者に名前の由来を教えてもらったり、幼児が小さい頃の話や可愛かった思い出などを聞いたりし、幼児が親に大切にされていることを実感する機会とした。

令和6年度 「かがやく心」リーフレット

令和7年3月発行

〈教育ビジョン啓発誌作成委員会及び人権教育推進委員会委員〉
委員長 山田 晴 康（汐見小学校・校長）
副委員長 野本 和 美（柳町幼稚園・副園長）
副委員長 伴 太 牧（第八中学校・副校長）
委員 樋谷 桃 代（青柳幼稚園・主任教諭）
委員 伊藤 晴 香（汐見小学校・主幹教諭）
委員 美濃部 希 美（第八中学校・主任教諭）

〈文京区教育委員会〉
教 育 長 丹 羽 恵 玲 奈
教育指導課
教育指導課長 山 岸 健
統括指導主事 高 橋 拓 也
指 導 主 事 室 岡 祐 太
指 導 主 事 上 野 義 博
指 導 主 事 樋 口 諒